

地球環境基金 便り

- 巻頭インタビュー 坂東 元さん……………2
- 特集：協働・連携のいま……………4
- 助成団体レポート：スペースふう……………10
- サポーターインタビュー：倉本 聡さん……………12
- 地球環境基金のサポーター……………14
- 平成26年度地球環境基金助成決定について……………15

特集

協働・連携のいま

NGO・NPOと企業・行政、「ニーズ」と「強み」の
マッチングを読み解く



ご寄付の お願い

地球環境基金への寄付を通して、環境NGO・NPO活動をご支援ください。



不要になったCD、DVD、ゲームソフトを集めてブックオフへ。



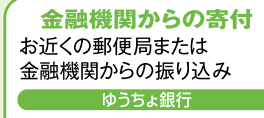
宅配便買取にエコ募金を組み合わせたエコリサイクルをお手伝い。



VISA、Masterカードをお持ちの方はオンラインで。



全国のファミリーマートに設置されているFamiポートから。



お近くの郵便局または金融機関からの振り込み
ゆうちょ銀行
口座名義：地球環境基金
口座番号：00190-0-664214

イベントを通してのご寄付

企業・団体等組織で開催される環境に関するイベントに、地球環境基金の活動紹介パネル・ポスター・募金箱の貸出しや各種広報グッズなどの提供を行っています。

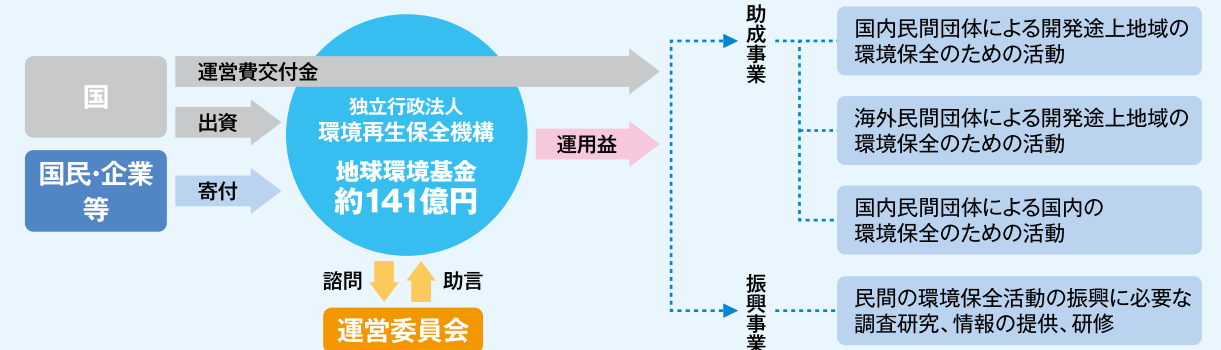


地球儀型募金箱 リサイクル鉛筆



地球環境基金とは

環境再生保全機構は、国の出資金と民間からの寄付金により「地球環境基金」を設け、その運用益と国からの運営費交付金により、国内外の民間団体（NGO・NPO）が行う環境保全活動へ支援を行っています。



表紙写真



サポーターや支援企業などと共に取り組む VF甲府エコスタジアムプロジェクト

サッカーJ1のヴァンフォーレ甲府のホームスタジアム「山梨中銀スタジアム」では、2004シーズンから使い捨て容器ゴミの削減を目指しリユース食器を積極的に導入。試合開始前には、前回の試合で使用されたリユース食器の数と、その環境効果をスタジアムの大型ビジョンに表示するなど、積極的な環境活動に取り組んでいます。

イベント情報



5月18日に実施された「第4回CC等々力エコ暮らしフェア」で、イベント「みんなでつくろう地球環境基金ポスター」を行いました。ポスターには、来場者のほか、川崎フロンターレの「ふろん太くん」にも参加していただきました。

Twitter



地球環境基金ではツイッターを行っています。



編集後記

37号から写真を多く取り入れ、誌面を一新しました。今回は暑い中の取材も多く、旭山動物園では気温35℃の中、白クマもぐったりしていました。特集「協働・連携のいま」について様々な形態における最新情報をお届けします。

行動展示で 動物のありのままを伝える

私が入園した時、旭山動物園は「あと何年もつか…」と言われていました。予算がないので、自分たちで小屋を改造し、他の動物園からウサギを譲り受け、ふれあい施設を作るのがやっとという状態。また、動物園はいわゆる3Kで、市役所の中でも人気のない職場でした。それでも、動物に関わっていると、預かっている命はどれも尊く、毎日見続けても飽きないし、職員は誰もが動物を素晴らしいと思うようになります。

「奇跡の動物園」と呼ばれる旭川市旭山動物園。

1967年開園の同園は、96年度に入場者数26万人という

過去最低を記録し、閉園の危機に直面しますが、

翌97年から始めた行動展示によって、徐々に来園者が増加。

2006年度には国内で4例目となる年間入場者数300万人を

達成しました。行動展示を考案した坂東 元園長に、

動物園の果たすべき役割について伺いました。

動物の暮らしを通して学ぶ さまざまな命のあり方

坂東

めないと思うんですね。今、私たちは教育活動に力を入れていて、こちらでバスを用意して地元の子どもたちを動物園に招き、動物教室などを開いています。旭山を見続けた子どもが大人になり社会に出た時、「旭川出身のやつって優しいよな」と言われる、そこまでのいかないと本当の結果が出たとは言えない。まだまだ途中です。例えば1本の木を切る時、もうかるからと何もためらわずに切るのか、二度立ち止まるのか。「この木にはたくさんの生き物が生きている」とパツと感じられる、そういう大人に育ってほしいのです。

連携で進める 恩返しプロジェクト

現在、旭山動物園には118種の動物がおり、その中に絶滅危惧種のボルネオオランウータンがいます。このオランウータンの故郷ボルネオでは、私たちの生活で広く利用されているパーム油を採るためのプランテーションが拡大し、熱帯雨林が消滅の危機にあります。オランウータンを見て楽しかった、優しくなれたという気持ちを何らかの形にして動物の故郷に返そうと始めたのが「恩返しプロジェクト」です。企業や多くの方々の支援を受け、マレーシアのサバ州野生生物局と共に「野生生物レスキューセンター」の設立を目指しており、昨年6月、その第1弾となるボルネオゾウの緊急避難施設の第1期工事が完了しました。

今年旭川市内の高校生14名を連れて、施設のペンキを塗るために現地に出かけます。社会に出る前の原体験として、自分たちの暮らしはこういうものを踏み台にして成り立っていることを知ったら、きっと子どもたちも変わるのではないのでしょうか。

ところが、来園者の中には「寝てばかりで、つまらない」と、動物に石を投げる人がいる。私たちが日々感じている動物の魅力が来園者には伝わっていないのではないのか？ありのままの姿が素晴らしい！と感じてもらいたいと始めたのが行動展示です。

以前、レッサーパンダの立ち上がる姿が話題になったことがあります。その個体だけが特別のように言われましたが、どのレッサーパンダでも向こうが見えない場所を作れば立つ、木に登れないから立つだけなんです。旭山では、彼らの暮らし方をきちんと伝えようと、吊り橋を造りました。制約はありますが、動物たちが一生を過ごす空間なので、できる限り彼らの個性や身体能力を生かせるよう工夫したいと思っています。

それから、旭山では動物に芸やショーをさせるつもりはありませんし、「命は横並び」と考えているので、ことさら希少種を求めることもしません。普通の動物でも十分に素晴らしい、それを分かっているのです。

次世代を育てる動物園を 目指して

動物の生き方や感性を知らないで、自然を守れるでしょうか。特に命については生から死まで連続して見たり、関わったりしなければ、それを大切にする気持ちは育

元 さん

坂東 元(ばんどうげん)

旭川市旭山動物園園長、獣医師。ボルネオ保全トラストジャパン理事。1961年旭川市生まれ。84年酪農学園大学獣医学部獣医学科卒業。86年獣医として旭山動物園入園。95年飼育展示係長、2004年副園長を経て、09年から園長。「もうじゅう館」「べんぎん館」「ほっきょくぐま館」「あざらし館」など、動物本来の能力や習性を見せる「行動展示」を考案し、旭山動物園を全国区の動物園に押し上げた。著書に『動物と向きあって生きる』(角川文庫)、『夢の動物園ー旭山動物園の明日』(角川学芸出版)がある。



岩場で空(?)を見上げるホッキョクグマ



水槽から顔をひょっこりと突き出したアザラン



マレーシアの野生生物レスキューセンターの前で

Gen Bando

環境保全活動を展開する上で、NGO・NPOと企業・行政などの協働・連携は、今や必須となりつつあります。では、どう展開していけば良いのか、本号ではさまざまな事例を紹介するとともに、立場の異なる方々にアドバイスをいただきました。

協働・連携のいま

NGO・NPOと企業・行政、「ニーズ」と「強み」のマッチングを読み解く



目的達成のために活動を数値化する

NPOは、ある目的や使命の下に集まった機能体（アソシエーション）ですが、活動しているうちに目的を見失い、仲間内のムラ社会（コミュニティ）になってしまう傾向があります。例えば、「何をする団体なんですか」と尋ねると、「年報を発行しています」「毎年セミナーを開催しています」。それは活動であって目標ではありません。環境をどうしたいか、具体的な目標は何か、数字で示すようになるのか。「地球温暖化を防ぎたい」なら、CO₂排出量を何トン減らしたいのか、「野生生物を守りたい」ならどんな種を何頭残したいのか、組織としての「モノサシ」と「ゴール」が明確でないことが多いのです。

です。ぜひ小さな「1」を作り、それを広めて社会の病気を治していただきたいと思います。

活動強化のために大学との連携を

企業や行政以外に、大学との連携も進めてはどうでしょうか。大学は社会的な信頼性の高さはもちろん、教授のもつ専門知識や人的ネットワークが利用できる、大学の施設を無料で借りられることもあります。大学はかつてほどの「象牙の塔」というイメージではありません。世の中に役立つ大学として地域連携や社会貢献が求められているので、NPOの皆さんは自身の活動テーマに合った教授、近頃の元氣な准教授をインターネットなどで探し、積極的にアプローチすることをお勧めします。

NPOは社会の白血球

遠くの目標が明確なら、取り組みは小さくてもいいのです。社会問題の画期的な解決策が普及して新しいあたりまえになる（定着化）ことをソーシャルイノベーションといいます。すごいアイデアや手法が生まれ、人々の行動パターンが変わる。次にその「1」がモデル化されて普及する。環境省が2005年に提唱したクールビズは、「新しいあたりまえ」になったソーシャルイノベーションです。NPOは社会の白血球

社会問題の解決には①問題の発見、②問題の定義、③対策の実施、④評価と退出、という4つのステップ

があります。このうち最も難しいのが問題の定義、目標を数値化することです。数値化されなければ、取り組みが前進しているのか後退しているのか、正しい方向なのか間違っているのか判断できません。失敗から学ぶこともできないし、成果を示して支援を得ることもできないのです。評価基準（モノサシ）を決め、現状はここだが何年後にはどうするという数字（ゴール）を決めることが大切です。

例えば、イベントを開催すれば、来場者が何人というアウトプットは得られます。しかしそれは正しいモノサシではありません。イベント参加者が何かに気付き、その結果行動パターンがどう変わったのかなど、

有識者



佐分利 聡さん

（さぶり・まさたか）
総務省行政評価局評価監視官（法務・外務・文部科学担当）。京都大学経済学部卒業後、1991年通商産業省（現経済産業省）に入省。エネルギーや地域振興、地球環境問題、外交などの問題に関わる。専門は社会医学、イノベーション政策。京都大学経済研究所准教授を経て、2014年8月より現職。

「新しいあたりまえ」を創り出す

協働・連携のいま

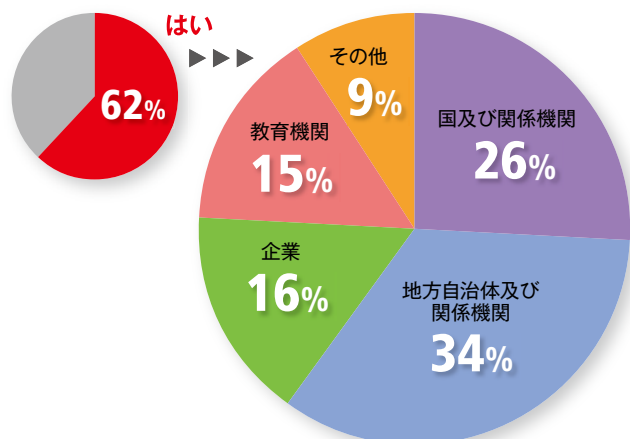
Questions about Collaboration 協働・連携に関するアンケート

Q: これまでの活動により、貴団体ではどのような効果がありましたか？

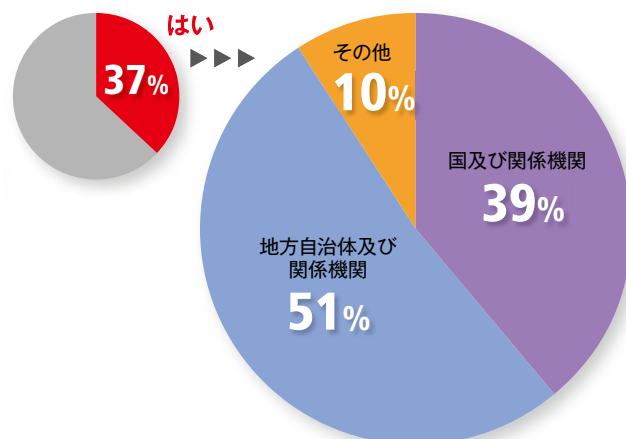
昨年、地球環境基金が創設20周年を迎えるにあたり、助成団体の活動成果や波及効果を具体的に知ることを目的とし、アンケート調査（2013年3～4月）を実施しました。対象は、地球環境基金の助成を複数回受けた団体で、189団体に送付し133団体（回収率71%）から回答を得ました。「協働・連携」に関する部分が右に示すグラフです。詳しい内容は、地球環境基金のホームページに掲載されていますので、ご参照ください。

<http://www.erca.go.jp/jfge/info/20th/index.html>

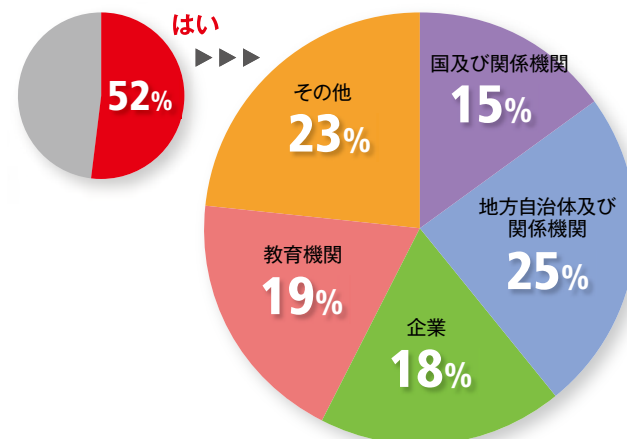
活動にあたって交渉や提言がしやすくなった



行政から事業を委託されるようになった



プロジェクトを連携するようになった





兵庫県豊岡市長
中貝宗治さん

(なかがいむねはる)
1954年兵庫県豊岡市生まれ。京都大学法学部卒業。78年兵庫県庁入庁。91年～2001年兵庫県議会議員。01年7月豊岡市長就任。05年5月合併による新豊岡市の市長に就任し、現在3期目を迎えている。



共感の連鎖が生んだ 緩やかな連携

コウノトリの保護は、行政が主導してスタートしましたが、順次J A、農家、企業、NPOなどが加わり、多種多様な組織の連携が実現しています。もちろん、最初からこうした姿をイメージしていた訳ではありませんが、現在は「コウノトリも棲めるまち」というスローガンの下にそれぞれが重要な役割を果たしています。ただ、豊岡市以外の方々も関わっているのが、全体像そのものは正確に把握できないほど大きく広がっています。

ここまでうまくやってこれたのには二つの理由があります。一つは、最初から「共感の連鎖」を作り出そうと意識していたこと。「環境に良いことだから理解してほしい」と訴える

地域資源の掘り起こし それが生きる道

だけでは、人はなかなかついてきません。時には絵本を作ったり、ミュージカルを上演するなど、ハートに訴えることも大切です。つまり、ハードルを下げて誰でも参加できるようにしたのです。もう一つは、経済を敵に回さないこと。お金のことにしか興味がない人も受け入れ、環境を良くすればもうかるという仕組みを具体的に示したことです。



コウノトリが飛来するようになった田結(たい)湿地。
元は休耕田で、地区の人が総出で管理している

地域を元気にしようとするなら、足下を掘ること。地域の自然や歴史、伝統を掘るしかないでしょう。高さ・大きさ・速さを競うという勝負をしてはいけません。地域が受け継いできたものを大事に守り、新しい工夫を加え、次の世代へと引き渡していく。地域が生き延びるに

は重要だと思っています。
NPO・NGOには、企業や行政を味方にするような「したたかさ」を持つてほしいですね。「行政は分かっている」と言うのではなく、「分かってもらえる」ように努力する。理解してくれる人が一人でも増えれば、その先に共感が生まれます。もちろん、一番良いのはトップを自身の活動に引きずり込むことです。

イーブンパートナー シップという理念

認定NPO法人アサザ基金と協働で始めた茨城県石岡市での「NEC田んぼ作りプロジェクト」は、当社社員の環境教育と社会貢献を目的にスタートし、今年で11年目を迎えました。最も大切にしてきたのは、同じ立場でそれぞれの目標を達成する「イーブンパートナーシップ」で、NECは人を、NPOはアイデアを出します。

10年間で参加者延べ1万1000人というプロジェクトに育った理由の一つに、NPOとの緊密なコミュニケーションと改善があります。年7回実施する田植えから新酒蔵出しまでのイベントは、地元も巻き込み100～200人規模で開催。イベント参加者には必ずアンケートを行う

て課題を

抽出し、次回は少しでも良くなるようにPDCAを回していきます。

NECはボンとお金を出して「後にはよろしく」という企業ではないので、NPOにとっては少々口うるさい連携先かもしれません(笑)。というのも、私たちはNPOのキャパシティビルディング(能力開発)を常に意識しているからです。

もう一つは企業側の工夫で、参加者を組織化したこと。長くやっていると同じ人しか参加しなくなる傾向があるので、経験を重ねた参加者がより主体的に活動を行っていく達人コースを用意しました。固定化というマイナスをプラスに変換したのです。



茨城県石岡市と牛久市の田んぼで収穫した米で醸造した日本酒「愛町で笑呼(IT、で、エコ)」

求められる成果の提示

アサザ基金の「100年後にトキを」というビジョンに共感し、2010年には牛久市上太田地区を新たなフィールドとして活動を拡大しました。ここでは生物多様性に焦点を当てているので、初年度は生き物調査を行い、基礎データを収集。この目的は、活動によって生物がどれくらい増えたかを明確にしたいからです。私たちはこの分野のトップランナーという自負もあるので、こうした成果をきちんと示すことが重要だと考えています。

企業



主任 **亀井 誠**さん



松下直子さん

日本電気株式会社
コーポレートコミュニケーション部
CSR・社会貢献室

Win - Win の関係をつくるために

協働・連携の いま

Case Study 1

自治体と連携し河川の環境保護と 鮭の放流を実施

栃木県真岡市の五行川・小貝川で河川の環境保護と鮭の放流に取り組んでいるNPO法人鮭守の会。漁協以外で鮭の捕獲許可を持つ団体は極めてまれだが、県や市と連携することで、市民運動ながら鮭の生態系保護活動として、捕獲・受精・放流を行っている。(NPO法人鮭守の会・栃木県真岡市)



五行川で鮭の稚魚を放流する子どもたち

Case Study 2

町の鳥エトピリカを地域が 連携して保護

アイヌ語で「美しい嘴」という意味のエトピリカ。繁殖地の岩礁や海上にデコイを設置するなど、エトピリカをはじめとした海鳥を保護してきたNPO法人エトピリカ基金。地元漁協や町役場との連携を進め、現在では地元小学生の学習の場にもなっている。(NPO法人エトピリカ基金・北海道厚岸郡浜中町)



漁協の職員と一緒にデコイを設置

Case Study 3

目標は地域内の 全小学校との連携

富山県の中央部に位置する呉羽丘陵で現代の里山づくりに取り組む悠久の森実行委員会。里山の良さを伝えるために、地域の小学校を対象に授業プログラムや、学校外での自然体験プログラムを提供。地域の自然に触れ合う機会をつくるとともに、地域の希少種の保護にも取り組んでいる。(悠久の森実行委員会・富山県富山市)



生き物観察会の様子

Case Study 4

中山間地域と首都圏ホテルを 環境配慮の農産物でつなぐ

山形県中山間地域で環境に配慮した農業を営む集落を支援。現地に首都圏のホテルシェフを招き、生物多様性保全の意義や価値をアピール。現在は6つのホテルに定期的に農産物を供給し、売り上げの一部をさらなる環境保全活動の資金として循環する仕組みをつくっている。(NPO法人ネイチャーアカデミーもがみ・山形県最上郡鮭川村)



ホテルシェフによる現地視察の様子

■プロジェクト概要

ラオス・ルアンパバン県での植林事業。3年間で60haの植林を目標とするが、2年間で既に57.05haを実施し、延べ2,600人の住民が参加。生徒向けのワークショップにも2,123人が参加している。
<http://www.habitat.or.jp/>

MOUを締結し、 両者の責務を明確化

また、これは日本ハビタット協会の方針ですが、連携する際は信頼関係だけでなく、MOU (Memorandum of Understanding : 覚書) を締結し、互いの責務を明確にします。本年度に関しても、2月に4月からの活動スケジュールなどをMOUにまとめ、双方が合意署名しています。これにより、現地協力者はいつ何をすべきか明確に理解できるようになります。連携先からは、毎月活動レポートを提出してもらい、問題があれば解決していきます。

現地との実質的な 連携協働体制を確立

今回の植林事業は住民の方々だけでなく、学校の協力で多くの生徒が積極的に参加しています。これは政府機関であるラオス給水公社と、連携体制をあらかじめ確立していたからだと言えます。彼らのネットワークを使って自治体や学校に対して丁寧な説明会を開き、事業の主旨をきちんと理解してもらうことで自主的な参加につながりました。



バクウー中学校でのワークショップの様子



順調に育っている苗木



植林活動に参加する住民の皆さん

統括責任者は私たちなので、間違った時は何が悪かったのかを話し合い、現地の意見を聞きながら最終的にこちらから解決策や改善策をきちんと提示します。「どう思いますか？」だけではなく、「では、こうしましょう！」です。これは、海外で事業を展開する際にはとても大事なポイントだと思います。

共に農業センターで指導を受けました。というのも、問題への共通認識を持つことが重要だからです。問題を曖昧なままにせず、原因と解決策を必ず見つけます。現在、学校での苗木育成は順調に進んでいます。

プロジェクトを進める中で、調整が必要になることもあります。例えば、学校で種から苗木を育てるのがうまくいかなかったことがありましたが、その時はラオス給水公社の担当者と

共通認識を持ち、 必ず解決策を提示する

■プロジェクト概要

容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、食品リサイクル法の見直しを機に、マルチステークホルダー参加による会議(年3回)と海外視察を実施。その成果はホームページで閲覧できる。
<http://www.genki-net.jp/>

課題の共有から 始まる連携

NGOの連携から マルチステークホルダー の連携へ

以前、地球環境基金から助成をいただき、アジアと日本のNPOの連携を目指す「アジア3R推進市民ネットワーク」を手がけましたが、今回は個別リサイクル法の見直しに向け、立場が異なるステークホルダーが参加する会議を開催しました。こうした会議は意外に少ないし、NPOが主催すると皆さん自由に発言できるので大変良かったと思います。最大の成果は、各ステークホルダーが抱えている課題を共有できたこと。自治体や小売店、3R推進団体連合会、リサイクル事業者、消費者と立場は異なりますが、話してみても「なるほど」と分かったことは結構あります。それと、国の委員会では言えない本音がポロっと出ることもあり、オブザーバーとして参加していただいた関係省庁の方々のお耳にも入ったのではないかと思います。



ヨーロッパ視察:
ブリュッセル市内のガラスびんの色別回収ステーション



ヨーロッパ視察:
パリ市内の衣類回収ボックス



NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネットの
事務局長鬼沢良子さん(右)と事務局の足立夏子さん



マルチステークホルダー会議の様子

法律ができればそれで終わり、ではありません。市民の皆さんに行動してもらいには自治体や学校、小売店などとの連携が必要で、NPOはその橋渡しをする。やるのがいいじゃないですか(笑)。

マルチステークホルダー会議は昨年7月から3回開催。初回は意見交換と課題出し、2回目はヨーロッパ視察の報告会と連携の進め方、そして最後は政策提言のまとめです。段階を踏んで開催したこと、また提言内容についても丁寧に話し合ったので、かなり深掘りできたと思います。本年度も同様の会議を3回実施しますが、これに加えて環境配慮設計、消費者のグリーン購入に対する意識調査を行い、これをまとめて皆さんに報告する予定です。

法律を行動に 結び付けるために NPOが橋渡し

N P O の 事 例 か ら 学 ぶ 協 働 ・ 連 携 の あ り 方

リユース食器で 10年を超える実績

NPO法人スペースふうは、2003年に地元の山梨県南巨摩郡増穂町（現富士川町）でリユース食器レンタル事業を立ち上げ、04年からサッカーのヴァンフォーレ甲府のホームスタジアム「山梨中銀スタジアム」のエコスタジアムプロジェクトを発足させ、リユース食器の導入と「ゴミの分別回収に取り組んできた。こうした実績を踏まえ、13年度から地球環境基金の助成を受け新たに取り組み始めたのが「環境と未来世代に優しい『エコイベント認証制度』開発のための調査研究事業」だ。

「山梨県にもイベント開催に関する環境ガイドラインがあります。でも、うまく機能しないというか、形骸化しているところもある。なので、より実践的な認証制度を開発しよう



第4回「甲州富士川まつり」会場内のエコステーション。毎年、地元の中高生がボランティアでエコ活動に参加

うと始めました。エコスタジアムプロジェクトはメディアでかなり紹介されていますが、地元山梨でもどんな活動なのか、知らない人がまだまだ多いという状況です」

ヒアリングと アンケートを実施

初年度、スペースふうは県内の有識者による「調査検討委員会」を組織し、地元で行なわれるさまざまなイベントで関係者の声を収集した。対象イベントは「ヴァンフォーレ甲府のホームゲーム」や北杜市の「第25回甲斐駒の里 名水まつり」など7イベント（下表参照）。主催者ヒアリング7名、出店者ヒアリング19名、協賛企業ヒアリング5名、そして来場者アンケートが1230名。スタッフ総出で対応した結果、明らかに変わったことがいくつかある。

リユース食器の利用には 来場者からも好意的な 意見をいただいています

「イベントの環境対策について来場者に尋ねたところ、全体で約6割の方が満足、約2割がやや満足と回答しています。その理由は、リユース食器を利用し、使い捨て食器のゴミが少ないからと答えています。また、リユース食器の利用は売店や協賛企業のイメージアップになると77.2%の



ヴァンフォーレ甲府のホームゲーム。開門前から並ぶサポーターにアンケートを実施

お話を伺ったNPO法人スペースふうの永井寛子理事長（左）と事務局の松本みゆきさん



方が回答しており、おおむね好意的な意見をいただいています」

エコイベント 認証制度に向けた課題

もちろん、克服すべき課題もある。リユース食器に特化して言うならば、出店者への協力要請方法や回収率を上げる方法、そしてデポジット制度のあり方だ。

ホームスタジアムで利用されている協賛企業の名前が入ったリユース食器



助成団体レポート 行ってみました！ リユースの 現場



分別回収したゴミを計量

「出店者からは、デポジット分が他店より高く思われるとか、来場者に説明するのが面倒という意見が寄せられています。デポジットについては、リユース食器を返却した際、会場内で使える協賛企業名入りの割引券を渡す企画も考えており、これは本年度トライする予定です。自然エネルギーの導入や地産地消との組み合わせなども考えています」

今回は、5月17日のヴァンフォーレ甲府と柏レイソルの試合当日に取材。キックオフは午後1時にもかかわらず午前9時にはスペースふうのスタッフが集まり集合。試合終了後にはゴミを分別回収するが、この日は年3回の「ゴミの計量日」だった。なぜ「ゴミを計量」？

「企業にも協賛金を随分お願いしていて、全額をヴァンフォーレ甲府に寄付し環境対策資金として使っていたにいます。ですから、協賛金でどれだけゴミが減ったのか、私たちには報告する義務があるのです」。

この日に出たゴミの量は411.2kg。入場者数1万73人にしては、想像以上に少ない。
2015年、スペースふうは認証制度を提案する予定だが、地道に環境問題に取り組んでいる団体だけに、その成果が今から楽しみです。

取材協力
NPO法人スペースふう
<http://www.spacefuu.net/>
※本調査の詳しい内容はホームページで参照することができます。

環境に負荷をかけないイベントの開催、その理想に反対する人はいない。しかし、なぜ理想通りにいかないのか？
イベント会場を調査フィールドに、この課題に取り組むNPO法人スペースふうの活動現場を訪ねました。

エコイベントに認証制度を！

成果が見える！

調査対象とした7イベントでの リユース食器の利用状況 (調査年:2013年)	リユース食器		地域食材使用	ゴミ持ち帰り呼びかけ	自家用車来場自粛呼びかけ	ゴミの分別
	利用回数	使用率(%)				
第4回大泉ふるさと夏祭り	8月11(日)	初回	95.0%	99.1%		
第5回峡南の夏祭り	8月24(土)	初回	42.1%	96.8%		
ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム	9月14(土)	200回以上(2004年～)	96.9%	96.9%		
パルシステム山梨商品展示会	10月6(日)	4回目(2010年～)	72.6%	99.9%		
第28回浅尾ダイコンまつり	11月3(日)	初回	100%	97.3%		
第4回甲州富士川まつり	11月10(日)	12回目(2002年～)	60.2%	99.3%		
第25回甲斐駒の里名水まつり	11月17(日)	2回目(2010年)	62.0%	93.8%		

*ヴァンフォーレ甲府ホームゲームに関しては、年間の合計使用数と返却数で計算



倉本 聰さん



サポーターインタビュー
基金を支える方々

Heart & Heart
Sou Kuramoto

富良野自然塾 東京校

富良野自然塾のコンセプトそのままに、以下の4つのプログラムが用意されており、インストラクターのガイドの下、120分で全プログラムを体験することができます。



① 緑の教室

人間を含む動物は、酸素と水、なしでは生きられません。その2つを提供してくれるのが木の葉。自然塾では、葉っぱの話をきっかけに、地球と自然の尊さをあらためて考えます。



クスノキの前に「この木に葉っぱは何枚ありますか?」と質問するインストラクター

② 裸足の道

現在、われわれはほとんどの情報を、視覚から得ています。このプログラムでは、目隠しをした上で裸足になつて芝生や砂利、丸太、落ち葉、土などの地面を歩くことで、視角以外の四感から自然を感じ取ります。

③ 1mの地球

地球の構造や海、陸地のこと、中でも著しいスピードで消滅しつつある熱帯林の現状などを、直径1mに縮小した石の地球を使い学びます。



直径1mの地球。30m離れたところに直径36cmの月がある

④ 46億年地球の道

46億年の地球の歴史を460mの距離に置き換えた道を歩きます。過去に起こった地球高温暖化や全球凍結、生物の誕生と進化、石炭や石油の蓄積などを見つめつつ、あまりにも短い人類の歴史とその中でわれわれがしてしまったことを探ります。



46億年・地球の道の入口



道の途中にある恐竜の足跡

※プログラムの説明は同校パンフレットより引用編集

●国営昭和記念公園

【住所】東京都立川市緑町3173

【交通】JR中央線立川駅より徒歩10分

人間は本当に不思議なことをなさる。

智恵をしばって自然をこわしている。

※倉本 聰作「マロース」に登場する、人間に愛妻を殺された羽の老いた白鳥のセリフより

2014年3月18・19日の両日、倉本 聰作 演出による富良野GROU Pの『マロース』が東京で上演されました。同公演に際しては、倉本先生のご厚意により会場内に地球環境基金の募金箱を設置させていただくとともに、入場料からご寄付もいただきました。ここに、あらためてお礼申し上げます。

また、倉本先生は06年より地元富良野市で「NPO法人C・C・C富良野自然塾」を主宰されており、6月1日、東京都立川市の国営昭和記念

公園内に、全国で5番目となる「富良野自然塾東京校」を開校しました。開校に先立ち、5月30日には倉本先生ご列席の下、記者会見と体験プログラムを公開。ここに参加した翌日、お話を伺いました。

心に落ちる プログラムを開発

「昨日、東京校で環境教育プログラムを体験しましたが、非常に分かりやすかったですね。」

倉本 口で説明して分かるのなら体

置から恐竜の大きさを思い描けるでしょう。想像力を刺激するのも自然塾の課題だと思っているんですよ。

「1mの地球」では、地球と月との距離感が実感できました。

倉本 学校の先生が教えると、地球の直径が何キロで、月までの距離が何キロと数字で終わってしまう。昨日の講演会でも話しましたが、石油の残量（確認埋蔵量）は1兆2000億バレル。この数字をご存じの方も多いでしょう。でも、それが富士山1個の7分の1と言われたら、愕然とする。ボクも最初はウソだろうと思いました。これをNHKのテレビ番組で話すにあたり、間違えてはいけないとNHKにも計算し直してもらいましたが、何度やっても同じ。びっくりするでしょ、これが実感ということなんです。

科学オンチだったから できたこと

「シナリオや演劇というベースがあったから、こういつた見せ方ができたのでしょうか？」

倉本 そう、シナリオや演劇の場合、やはりストーリーから説き起こしますよね。その流れの中でお客をどのタイミングで、どう引き付けるか。演劇

には「つかみ」という言葉があります。がプログラムでもこの「つかみ」には工夫を凝らしました。それと、もともとボクたちは科学オンチで、どちらかと言えば体育会系、体を動かす方が得意です。最初、スタッフが「これは何ですか?」と尋ねるから、「誰に向かって聞いているんだ! オレに聞いたって分かるわけないだろう」という会話でスタートしたくらいです。から（笑）。分からないことをまず自分たちが理解する。それを踏まえ、他の人にも理解してもらえよう伝え方を工夫する。本で知るのではなく、第1次情報、つまり自ら感じることを大事にしています。

「暗くなったら寝る」 が人間本来の生活

「富良野自然塾はプリンスホテルのゴルフ場を森に返すという目的でスタートしていますが、この考え方は先生の作品中にしばしば見受けられます。文明批判と言いますか?」

倉本 そういう意味では、ボクの座標軸はまったく変わっていませんね。テレビドラマ『北の国から』は、フジテレビが「小さな家族の大きな愛の物語」というキャッチフレーズを付けて

世間一般に受け入れやすいよう装飾したのですが、最初のシーンで子どもが「電気がなかったら暮らせない。夜になったら、どうするの?」と言うと、お父さんが「そんなことはないよ。夜になったら寝るんです」というセリフがあります。この単純明快な思想がボクの中にはずっとある。「暗くなったら寝る」が本来の人間の生活だったはずなのに、今は忘れられていますよね。

「北の国から」で言いたかったことは、そこにあると?」

倉本 そうですね。だからこそ、あの作品は3日後に見直されたのだと思います。

「これからも富良野自然塾の分校を増やしていくと、お考えですか?」

倉本 思いを同じにする方がいれば、ですね。来年は岡山で開校を予定していますが、基本的な思想はきちんと伝えたいので、インストラクターは富良野で養成します。女優の竹下景子さんやサッカーの岡田武史監督もインストラクターになつてくださいます。時間が余裕のあるシルバーク世代の方々にこそインストラクターになつてほし

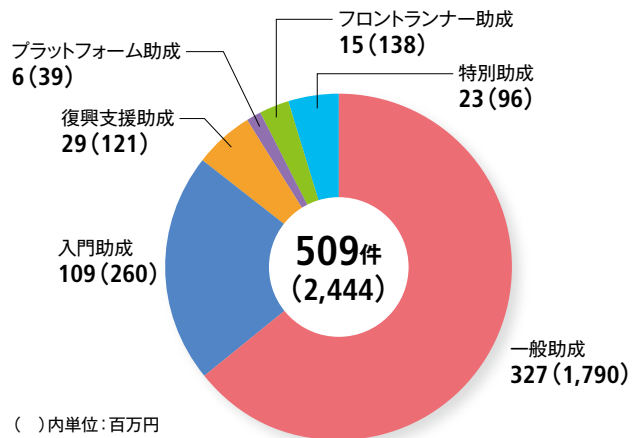


倉本 聰(くらもと・そう)
1935年東京都生まれ。脚本家。ニッポン放送を経て77年に北海道富良野市に移住。84年から役者やシナリオライターを養成する「富良野塾」を主宰(現・富良野GROUP)。代表作に『前略おふくろ様』『北の国から』『昨日、悲別で』『駅STATION』『風のガーデン』など多数。2006年より「NPO法人C・C・C富良野自然塾」も主宰し、環境教育に尽力。

平成26年度地球環境基金助成先団体が決まりました。

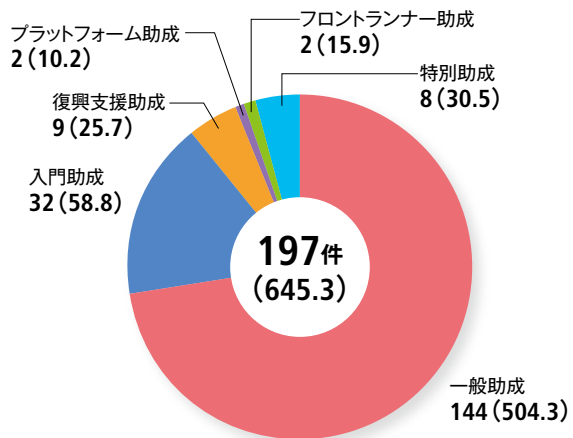
新メニューとなった平成26年度の助成金は、本年1月6日から2月12日にかけて募集を行い、前年度より40件多い509件(要望額2,444百万円)の応募がありました。結果については、地球環境基金助成専門委員会の厳正な審査に基づき、197件(645.3百万円)を助成先として決定しました。

■応募件数(金額)



()内単位:百万円

■採択件数(金額)

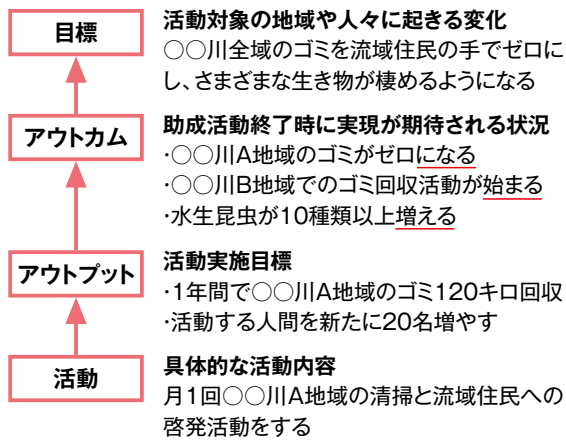


次年度に応募する皆様へのアドバイス (地球環境基金課より)

審査は、「助成金交付要望書」に記載された内容に基づき判断します。したがって、活動目的を達成するための具体的な計画(実施内容、実施方法、スケジュール及び予算など)が、いかに的確に記載されているか、そこがポイントになります。しかし、残念ながら記載内容に不備のあるケースも見受けられます。地球環境基金課から、重要な4点をアドバイスします。

1 アドバイス プロジェクトデザインがしっかりしているか?

「何を目的とした活動なのか?」「活動すると環境の何がどう変わるのか?」。数枚の「助成金交付要望書」ですが、このことが読み取れないケースが多々あります。目標、アウトカム(成果の目標)、アウトプット(活動実施の目標)、そして活動の関係を明確に示してください(数字が重要!!)。



2 アドバイス 募集案内の内容に一致しているか?

応募された書類の中には、助成金額の範囲を超えているもの、対象となる経費の単価基準を明らかにオーバーしているもの等、記載内容不備により審議対象外となるケースもあります。基本的なことですので、十分にご注意ください。

3 アドバイス 計画が適正か、無理がないか?

応募された書類の中には、計画通りに実施することが明らかに無理と思われるケースもあります。確実に実施できる無理のない計画であることが重要なポイントです。熟慮の上、計画を立ててください。

4 アドバイス 第三者のチェックを受けているか?

要望書に書かれた内容が他人に十分に伝わるか、思い込みで書かれていないか。書いた本人が確認するだけでなく、団体内外の第三者によるチェックを受けてはいかがでしょうか。手間(時間)のかかる作業ですが、その分精度の高い要望書となります。



地球環境基金のサポーター

地球環境基金をご支援くださった方々

地球環境基金に、平成26年1月から6月末までにご寄付・ご支援くださった方々は下記のリストのとおりです。個人や企業・団体としてご協力いただいた方はもちろん、様々なイベントを通じて募金活動にご参加・ご協力いただいた大勢の方々に深く御礼申し上げます。

平成26年1月から6月末日現在までに376件、総額 **10,003,085円** のご支援をいただきました。ありがとうございました。

国・地方公共団体

指宿市役所 市民生活部 環境政策課
磐田市役所 市民部 環境課
上天草市役所 市民生活部 環境衛生課
遠軽町役場 生田原総合支所 地域住民課
岡垣町役場 住民環境課
海津市長 松永 清彦(環境衛生課)
鎌倉市役所 環境政策課
川西町 住民生活課 環境衛生グループ
環境省 募金箱
久米島町役場 環境保全課
倉敷市役所 真備支所 市民課
小平市ごみ減量推進実行委員会
佐野市 市民生活部 クリーン推進課
山陽小野田市役所 市民生活部 環境課
下関市役所 環境部 環境政策課
新宿区役所 環境清掃部 環境対策課
千歳市役所 市民環境部 環境課
千代田区役所 環境安全部 環境・温暖化対策課
土岐市役所 経済環境部 環境課
徳島市役所 市民環境部 環境保全課
苫小牧市役所 環境衛生部 環境保全課
東通村役場
丸亀市役所 飯山市民総合センター
三郷市 クリーンライフ課 環境政策室
守谷市役所 生活環境課
山梨県庁 森林環境部 森林環境総務課
与謝野町役場 住民環境課
稚内市役所 会計室

その他

エコ暮らしフェア 募金
エコライフフェア2014 募金
NTT全国OB会電友会五ツ橋クラブゴルフサークル
DPI-NGO国連クラシックライブ協会
公益社団法人小松青年会議所
なりた環境ネットワーク
一般社団法人日本生花通信配達協会
山形美術館募金箱
リサイクル汽車ポッポ
(五十音順・敬称略)
*このリストは、地球環境基金への振込通知書等に記載された名称・氏名に基づき作成しておりますので、個人および企業・団体等の区別につきまして必ずしも正確ではない場合があります。また、紙面の都合により、ご寄付・ご支援くださったすべての方々のお名前を掲載できない場合もございますので、ご了承ください。

■「地球環境基金便り37号」 読者アンケートにご協力ください

アンケートは、このページのアンケートはがき、およびホームページ「地球環境基金の情報館」のアンケートページ (<https://www.erca.go.jp/jfge/info/publicity/tayori/form/37.php>)において受け付けております。皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

Present

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10名様に、地球環境基金オリジナル・エコバッグをプレゼント(応募締切:平成27年2月末)。当選者の発表は、地球環境基金のホームページで行う予定です。



企業

株式会社アクア
株式会社アクセル
株式会社アクチュアル
浅香工業株式会社
イーパートナーズ株式会社
ITTO個別指導学園 深沢校
有限会社インターリンク
株式会社エースランドリー
株式会社エル・ジェイ
奥野製薬工業株式会社 東京支店
笠間工芸の丘株式会社
キヨタ株式会社
株式会社クレディセゾン
五島冷熱株式会社
コネクショ株式会社 法人営業第五部
株式会社サイバーガジェット
株式会社ジェイアール西日本 デイリーサービスネット
JNC株式会社
株式会社ジェフグルメカード
シチズンセイミツ株式会社 GS事業部
株式会社ジャパン・エモーション
株式会社ジャパングリエイト
SUI INTERNATIONAL株式会社
セイワエステート株式会社
株式会社そごう・西武
有限会社第一環境
株式会社橘フィナンシャルグループ
丹波ワインハウス事業株式会社
トータリゼータエンジニアリング株式会社 園田分室
東京ガス株式会社 環境エネルギー館
株式会社トーカイ
ネットオフ株式会社
阪急阪神ホールディングス株式会社
ファミリーマート八王子甲州街道店
株式会社富士通エフサス
富士通マーケティング 千葉CS課
株式会社富士通マーケティング 秋葉原事業所
株式会社富士通マーケティング・エージェンツ
株式会社富士通マーケティング・オフィスサービス
ブックオフコーポレーション株式会社
有限会社フランク・クリエイティブ・シンジケート
ポケットカード株式会社
三井住友カード株式会社 東京法人営業部
三菱UFJニコス株式会社

個人

タカハシヨシコ アドバンスクラブ会長
高橋浩二 穂谷 尚久
田坂英樹 天野徳美
タサカヒデキ 天野真咲
田中健三 池見美香
タミヤショウコ 石川公則
篤宗寿子 伊藤昭子
遠山尚之 伊藤孝司
ナガオヨシコ 井上雅晴
中塚清士 井上悠子
中野明子 大竹公一
西久保裕彦 オオツカシュンスケ
西山哲夫 オオノヨウコ
ネットオフ株式会社 大庭よし江
お客様 オカダユウジ
野村一真 岡野香代子
芳賀徹也 岡野敬徳
ハヤシジュンコ 岡野義幸
原田広巳 岡本昇
原田祐佳 オギヌマアキコ
藤下洋子 甲斐丈士
藤田周一 神野政祐
堀さやか 清久恵次朗
本田聡 草薨智紀
マエカワカズヤ 組谷雅一
マツイヨウコ クドウノリヒロ
松本正幸 栗山俊勝
松本優子 コイソヨシミ
圓井悟 コサカエツコ
三澤あい 阪尾ユミ子
三澤賢洋 櫻井啓之
湊亮策 佐々木武
村瀬岳男 佐藤元基
ヨウメイアキコ 篠原泰
ヨウメイケンジ シバツジヒサコ
ヨウメイサキ 嶋元誠
吉田実 白銀真智子
吉田寧 杉本あおい
ヨネダエミ 杉本光史
 スクバタル
 スズキチヨ
 鈴木康夫
 関上賢治
 千田昌子

■ご寄付口座のご案内

「地球環境基金」へのご寄付は、下記口座より受け付けております。お振込みの手数料は無料です。

銀行名／支店名	口座番号	口座名称
ゆうちょ銀行	00190-0-664214	地球環境基金
新生銀行／本店	普通預金 0789699	独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金
三井住友銀行／東京公務部	普通預金 3013615	
三菱東京UFJ 銀行／本店	普通預金 7637448	
みずほ銀行／本店	普通預金 2413416	
りそな銀行／赤坂支店	普通預金 1023850	

同一金融機関でのお振込みについては、取り扱い窓口でお申し出ください。

①独立行政法人環境再生保全機構は、特定公益増進法人に指定されており、税制上の優遇措置を受けることができます。
②ゆうちょ銀行以外の銀行からお振込みいただく場合には、領収書が発行できません。領収書の発行を希望される方は、お手数ですが、地球環境基金部基金管理課(TEL:044-520-9606)へご連絡ください。

*この他にも、クレジットカードを利用したご寄付や、楽天銀行を利用したご寄付が可能です。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

地球環境基金の情報館 <http://www.erca.go.jp/jfge/>